

金手祭ばやし



金手祭ばやし 町指定重要文化財
平成3年7月18日指定

金手祭ばやしは、上大井祭囃子同様、明治初期に小田原囃子から伝承された葛西囃子です。この祭ばやしは、金手地域うしがみの氏神である三嶋神社の祭典（7月中旬）に行われます。2基の山車が巡行し、祭ばやしは山車の上に乗って演奏されます。

演奏する曲目は囃子はやし（キザミ入り）と、「四方デン」、「神田丸」、「鎌倉」、「四丁目」の段物があります。

昭和57年に金手祭ばやし保存会が発足し、平成3年に、町の重要文化財に指定されました。